

第4章 基本理念・基本方針と目標

1 基本理念・基本方針

基本理念

下松市総合計画に掲げられている将来都市像「都市と自然のバランスのとれた住みよさ日本一の星ふるまち」や下松市における公共交通の役割等を踏まえ、本計画の基本理念を次の通り定めます。

未来へつなぐ 住みよいまちの みんなの公共交通

基本方針

上位計画で示された将来像や基本理念を踏まえ、下松市の公共交通の課題解決に向けた本計画の基本方針（公共交通のあるべき姿）を以下の通り設定します。

基本方針 1

これからのまちづくりと暮らしを支える公共交通

目的地となる施設の新設統廃合、新しい住宅地の開発、過疎化など、まちは常に変わり続けています。また、子どもの成長、高齢化、そしてコロナ禍を経た新しい生活様式などに伴い、生活に必要な移動ニーズも変化していきます。こうした変化に寄り添い、柔軟に対応できる、これからのまちづくりと暮らしを支える公共交通を構築します。

基本方針 2

分かりやすく使いたくなる公共交通

必要な情報を必要な時に得られること、移動手段として公共交通が選択肢に挙がることを目指し、積極的な情報提供と利用意識の醸成、デジタル化、バリアフリー化を含む利便性向上によって、選ばれる公共交通を目指します。

基本方針 3

産・官・民のオール下松で支える持続可能な公共交通

運転士不足等の供給サイドの環境変化に対応するとともに、交通事業者だけでなく、その他の民間事業者、行政、住民も含めた「オール下松」で、あらゆる知恵を出し合い、力を合わせて公共交通を持続可能なものにします。

2 下松市が目指す公共交通の姿

(1) 公共交通網の将来イメージ

まちづくりと連携した面的な公共交通網を形成するに当たり、目指すべき将来イメージは次に示す通りです。

図29 公共交通網の将来イメージ



(2) 公共交通の位置付け

種別		系統	役割	確保・維持策
幹線	広域幹線	鉄道 ・ J R 山陽線 ・ J R 岩徳線	周南広域都市圏外への広域的な移動を担う	交通事業者やその他の事業者等と連携し、積極的な利用促進を行う
		路線バス ・ 徳山～柳井		地域公共交通確保維持事業*（幹線補助）を活用し持続可能な運行を目指す車両購入費補助の活用を見込む
		・ 徳山～岩国		
	都市間幹線	路線バス ・ 下松～光 ・ 下松～徳山、徳山に係る系統 2 2 1 3 3・2 2 4 3 9・2 2 4 4 0・2 3 1 3 5・2 3 1 3 6・2 3 1 3 7 系統	同じ周南広域都市圏を形成する周南市と光市の拠点と下松市の拠点、あるいは市内の拠点の間の連携を強化する	交通事業者やその他の事業者等と連携し、積極的な利用促進と支援（自主運行路線への補助）の検討を行う 地域公共交通確保維持事業*（幹線補助）を活用し持続可能な運行を目指す車両購入費補助の活用を見込む
支線		路線バス（市内完結路線）	地区の特性に応じて地区の拠点と居住エリア等を結ぶ（循環線を含む）	交通事業者やその他の事業者等と連携し、積極的な利用促進と支援（自主運行路線への補助）を行う
		コミュニティ交通* ・ 米泉号 ・ かさど号 ▲乗合タクシー* ▲目的限定バスの混乗化（スクールバス等）		地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助*）を活用し持続可能な運行を目指す
その他		タクシー	個別の移動を担う	事業として検討予定である交通弱者*対策としての助成制度等により需要を創出する
		スクールバス	目的別の移動を担う	効率性の観点から一般混乗化を検討する
		送迎バス ・ 玉鶴		
		レンタサイクル*	主に観光を目的とした比較的近距离の個別の移動を担う	観光分野とも連携して、公共交通との接続も考慮した利用促進を行う
		住民によるボランティア輸送 ・ くぼあいあい号 ▲事業者協力型自家用有償旅客運送*	福祉の観点も含め、公共交通でカバーしきれない移動を担う	行政は安全で持続可能な運行を支援する

▲は計画策定時点で市内にないもの

（３）地域公共交通確保維持事業*の必要性と補助系統に係る事業及び実施主体の概要

本市における地域公共交通確保維持事業に係るバス路線は以下のとおりです。

広域幹線

系統名	運行系統名			事業許可 区分	運行 態様	実施 主体	補助事業 の活用
	起点	経由地	終点				
1003	徳山駅前	快) 新岩国駅	岩国駅前	4条乗合*	路線定期運行*	防長 交通	単県
2007	柳井駅前	快) 光駅	徳山駅前	4条乗合	路線定期運行	防長 交通	国庫 補助
2008	徳山駅前	快) 光駅・周東病院	柳井駅前	4条乗合	路線定期運行	防長 交通	国庫 補助

< 2007・2008系統 >

周南市、下松市、光市、田布施町、平生町、柳井市を結び、市域を跨いだ通勤通学、買い物、通院等の日常生活行動を担います。経路上では徳山駅、下松駅、光駅、柳井駅に接続しており、各駅から路線バスと結節し、広域移動の重要な役割を担っています。一方で、運行区間内で利用者の少ない区間があり、自治体や交通事業者の運営努力だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する必要があります。

都市間幹線

系統名	運行系統名			事業許可 区分	運行 態様	実施 主体	補助事業 の活用
	起点	経由地	終点				
13507	徳山駅前	バイパス・自由ヶ丘団地入口	兼清	4条乗合	路線定期運行	防長 交通	単県
21126	下松駅前	青葉台団地・久保団地	ゆめプラザ熊毛	4条乗合	路線定期運行	防長 交通	単県
22133	徳山駅前	中央線	下松駅北口	4条乗合	路線定期運行	防長 交通	国庫 補助
22439	徳山駅前	徳高前・周南団地	下松駅北口	4条乗合	路線定期運行	防長 交通	国庫 補助
22440	徳山駅前	高尾団地・久米温泉口	下松駅北口	4条乗合	路線定期運行	防長 交通	国庫 補助
22442	徳山駅前	高尾団地・久米温泉口	下松高校入口	4条乗合	路線定期運行	防長 交通	市 単独
23135	徳山駅前	バイパス・久保団地・夢ヶ丘	ゆめプラザ熊毛	4条乗合	路線定期運行	防長 交通	国庫 補助
23136	徳山駅前	バイパス・記念病院・久保団地・夢ヶ丘	ゆめプラザ熊毛	4条乗合	路線定期運行	防長 交通	国庫 補助
23137	徳山駅前	バイパス・華陵高・記念病院・久保団地・夢ヶ丘	ゆめプラザ熊毛	4条乗合	路線定期運行	防長 交通	国庫 補助
23138	徳山駅前	未武	花岡	4条乗合	路線定期運行	防長 交通	市 単独
23494	徳山駅前	未武	東陽小前	4条乗合	路線定期運行	防長 交通	市 単独

系統名	運行系統名			事業許可 区分	運行 態様	実施 主体	補助事業 の活用
	起点	経由地	終点				
23495	久保団地 四丁目	末武	徳山駅前	4 条乗合*	路線定 期運行*	防長 交通	市 単独
27151	徳山駅前	徳高前・バイパス	花岡	4 条乗合	路線定 期運行	防長 交通	市 単独
27534	下松駅前	櫛ヶ浜・緑ヶ丘	徳山高専	4 条乗合	路線定 期運行	防長 交通	市 単独
31556	戸田駅前	バイパス・徳山駅・末武大通	下松駅北口	4 条乗合	路線定 期運行	防長 交通	市 単独

< 2 2 1 3 3 ・ 2 2 4 3 9 ・ 2 2 4 4 0 ・ 2 3 1 3 5 ・ 2 3 1 3 6 ・ 2 3 1 3 7 系統 >

徳山駅から国道 2 号、中央線、周南団地及び高尾団地等を経由して下松市内を通り、下松駅北口及び再び周南市域の熊毛を結ぶ路線であり、通勤通学、買い物、通院等の日常生活行動を担います。経路上には周南記念病院や高校、大規模な団地も複数あり、日常生活の移動に欠かせない路線です。一方で、自治体や交通事業者の運営努力だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業*により運行を確保・維持する必要があります。

支線

系統名	運行系統名			事業許可 区分	運行 態様	実施 主体	補助事業 の活用
	起点	経由地	終点				
19121	下松駅前	藤光・記念病院・花岡・ 宮の前	東陽小前	4 条乗合	路線定 期運行	防長 交通	市単独
19122	久保団地 四丁目	宮の前・花岡駅・記念病院・ 藤光	下松駅前	4 条乗合	路線定 期運行	防長 交通	市単独
21128	下松駅前	青葉台団地・久保団地(周回)	山田	4 条乗合	路線定 期運行	防長 交通	市単独
21129	山田	久保団地(周回)・ 青葉台団地	下松駅前	4 条乗合	路線定 期運行	防長 交通	市単独
21134	下松駅前	青葉台団地・久保団地(周回)	切山上	4 条乗合	路線定 期運行	防長 交通	市単独
21135	切山上	久保団地(周回)・ 青葉台団地	下松駅前	4 条乗合	路線定 期運行	防長 交通	市単独
21137	下松駅前	藤光・記念病院・花岡駅・ 久保団地(周回)	切山上	4 条乗合	路線定 期運行	防長 交通	市単独
21138	切山上	久保団地(周回)・花岡駅・ 記念病院・藤光	下松駅前	4 条乗合*	路線定 期運行*	防長 交通	市単独
21139	下松駅前	藤光・記念病院・華陵高・ 久保団地(周回)	切山上	4 条乗合	路線定 期運行	防長 交通	市単独
22131	下松駅北口	旗岡(循環)	下松駅北口	4 条乗合	路線定 期運行	防長 交通	
22132	花岡	下松駅北口・旗岡	下松駅北口	4 条乗合	路線定 期運行	防長 交通	
22134	周南記念 病院	下松駅北口・旗岡	下松駅北口	4 条乗合	路線定 期運行	防長 交通	
米泉号	米川地区	米川郵便局	サンリブ下松	市町村運営 有償運送*	区域 運行*	下松市	フィーダー 補助*

系統名	運行系統名			事業許可 区分	運行 態様	実施 主体	補助事業 の活用
	起点	経由地	終点				
米川～ 花岡線							
かさど号 笠戸島線	サイコロトイ レ	下松駅前	周南記念病院	市町村運営 有償運送*	路線定 期運行	下松市	フィーダー 補助*
かさど号 笠戸島線	サイコロトイ レ	ひらめきパーク笠戸島	下松駅前	市町村運営 有償運送*	路線定 期運行	下松市	フィーダー 補助*

<米泉号 米川～花岡線>

米川地区から花岡地区を結ぶ唯一の路線であり、主に買い物、通院を担っており、通勤や通学に使われることもあります。周南記念病院、サンリブなどの主要施設があるほか、周防花岡駅においてＪＲ岩徳線に乗り継いで広域移動につながるなど、米川地区の住民の生活に欠かせない重要な路線です。一方で、自治体の運営努力だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業*により運行を確保・維持する必要があります。

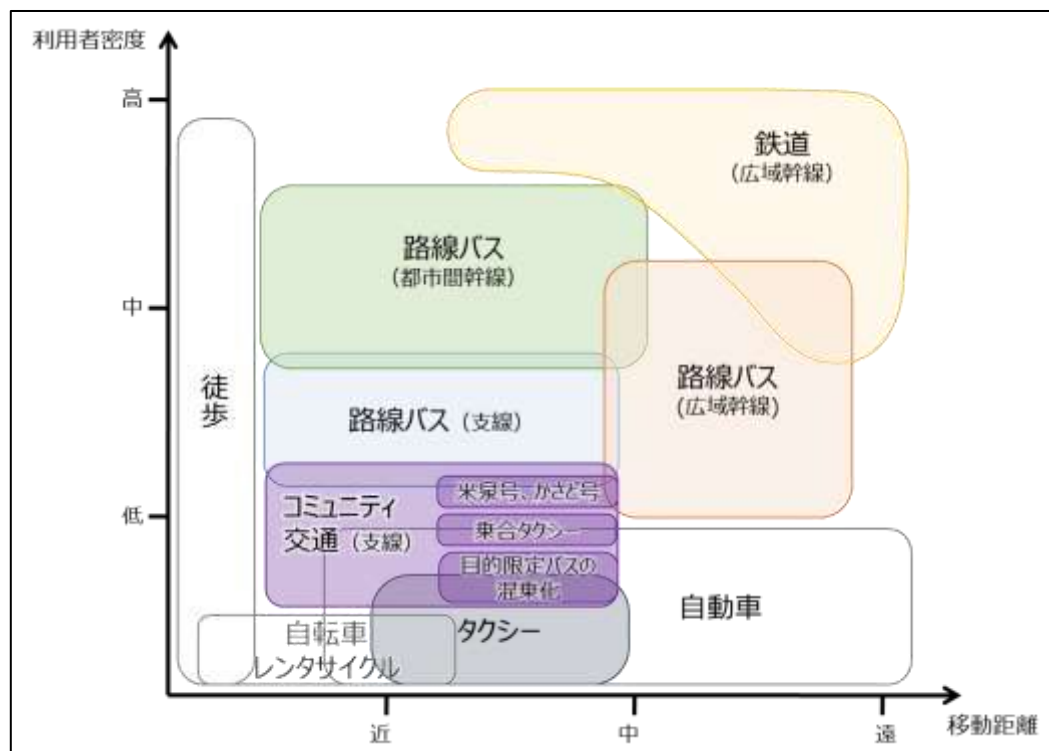
<かさど号 笠戸島線>

笠戸島地区と市街地を結ぶ唯一の路線であり、主に買い物、通院を担っており、通勤や通学にも使われます。周南記念病院、ゆめタウン下松、下松市役所などの主要施設があるほか、下松駅においてＪＲ山陽本線に乗り継いで広域移動につながるなど、笠戸島地区の住民の生活に欠かせない重要な路線です。一方で、自治体の運営努力だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業*により運行を確保・維持する必要があります。

(４) 各種移動手段の役割分担の方向性

各種移動手段の特性を踏まえ、次のように役割を整理します。

図３０ 各種移動手段の特性と本市における役割分担イメージ



《持続可能な開発目標（SDGs）*との関係》

国際社会共通の目標として持続可能な開発目標（SDGs）が提唱され、経済成長、気候変動等の世界的な課題に対し、17のゴールが示されています。本計画においても、目標のために実施する事業がSDGsの達成に貢献できるよう推進することとします。



3 計画の目標

基本理念

未来へつなぐ 住みよいまちの みんなの公共交通

計画の基本理念・基本方針を踏まえ、本計画の期間中に達成すべき目標を次の通り設定します。

基本方針1 これからのまちづくりと暮らしを支える公共交通

目標1-1 交通ネットワークの基幹となる幹線と交通結節点*の維持・強化

目標1-2 市民のニーズを踏まえた支線の再構築と移動手段の確保

基本方針2 分かりやすく使いたくなる公共交通

目標2-1 公共交通を利用しやすい環境の整備

目標2-2 公共交通の利用意識の醸成と利用促進

基本方針3 産・官・民のオール下松で支える持続可能な公共交通

目標3 関係者との協働・連携による持続可能な公共交通の構築